

東京障害者校における取組

事例発表

「職業訓練上特別な支援を要する 障害者」のあり方検討会

東京障害者職業能力開発校

短期ビジネス系オフィスワーク科

園田忠夫

短期ビジネス系 オフィスワーク科とは

• 訓練内容

- オフィスで広く使用されているソフトを用いて、パソコンによる実務的な一般事務、経理事務、ビジネスマナーなどの知識・技能を半年間で学びます。

• 定 員 15名

• 訓練期間 6ヶ月 (期間4月～9月, 10月～3月)

• 障害区分 《平成24年度入校数 前期8名(内精神4名) 後期8名(内精神3名)》

うつ病3級、双極性障害2級、双極性2型2級、下肢障害4級、内部障害3級、統合失調症2級、感音声難聴5級、左上下肢機能障害(高次脳機能障害)2級、統合失調症3級、聴力障害2級、うつ病3級、腎不全1級、統合失調症2級、下肢機能障害2級、脳性まひ2級、下肢障害4級

今回の事例発表は、多様な特別支援のなかでも精神障害者に関する事例報告です。

精神に障害を持つ方の受入れについて

- 選考方法⇒事前評価による選考
- 募集定員
 - －平成20年度～22年
 - ・4月生⇒3名(他科の応募も可)
 - ・10月生⇒3名(オフィスワークのみ)
 - －平成23年度～
 - ・4月生⇒5名(他科の応募も可)
 - ・10月生⇒5名(オフィスワークのみ)

特別支援障害者への訓練状況

● 受講状況

● 応募状況/入校者/修了/就職

注:前期の受験数には、他科も含む。

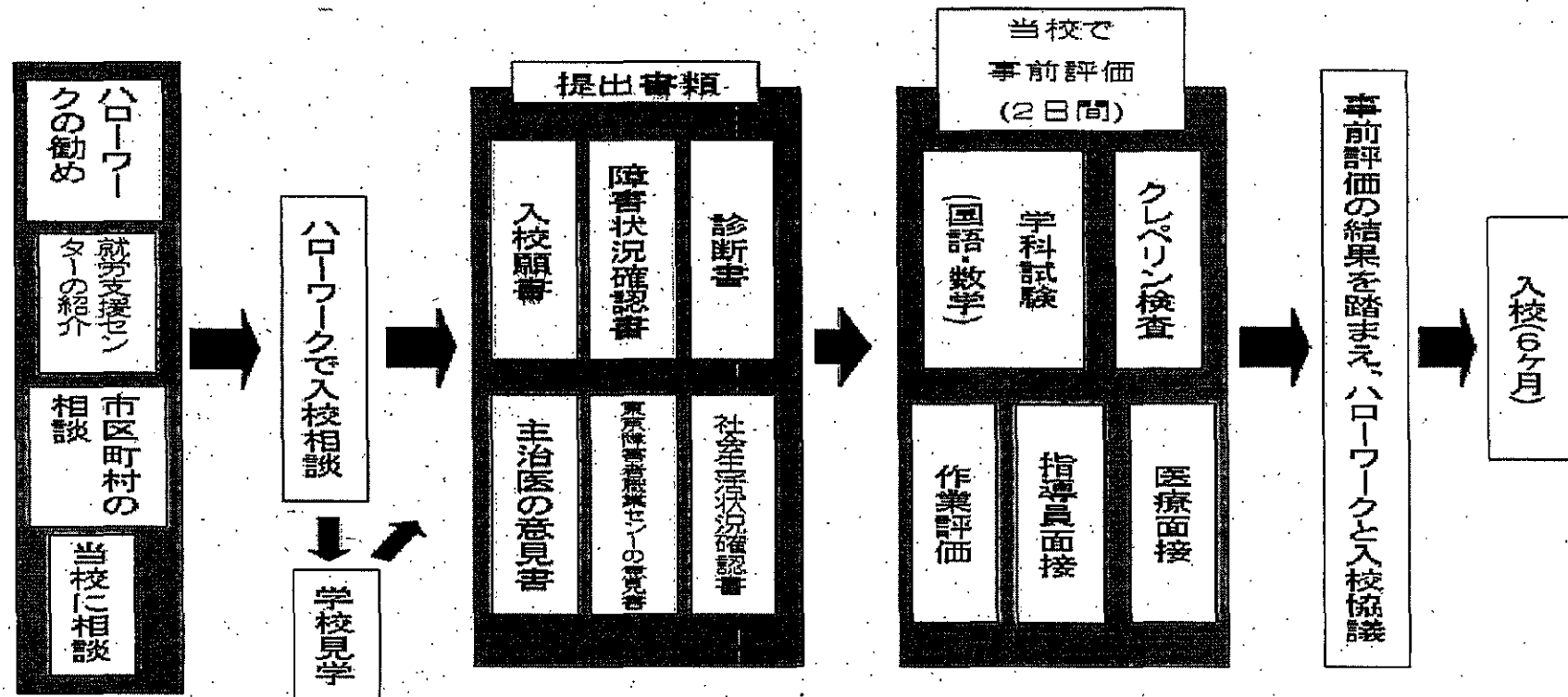
	H20前期	H20後期	H21前期	H21後期	H22前期	H22後期
受験	5	2	10	3	16	5
入校	1	1	2	2	3	4
修了	1	1	2	2	3	1
就職	1	0	1	2	3	1
備考			(皆勤1)	(皆勤1)	(皆勤1)	(皆勤1)

	H23前期	H23後期	H24前期	H24後期	合計	
受験	13	2	14	4	74	修了率＝ 修了/入校＝ 16名/20名＝ 80% 就職率＝ 就職/修了＝ 12名/16名＝ 75% (H24前期まで)
入校	2	1	4	3	23	
修了	1	1	4	-	16 <small>H24後期含まず</small>	
就職	1	1	2 <small>他2名は就職活動中</small>	-	12	
備考		(皆勤1)	(皆勤2)	(訓練中)	(皆勤7)	

特別支援 配慮事項について①

入校選考

・入校選考の流れ



入校選考の状況

・入校選考の方法⇒事前評価(協議)

・学科試験

- 国語および数学

・医療面接

- 専門医が障がいの程度・状態などを医学的にみて受講可能かどうかを判断するもの。

・クレペリン検査

- 性格検査・職業適性検査の一種

・指導員面接

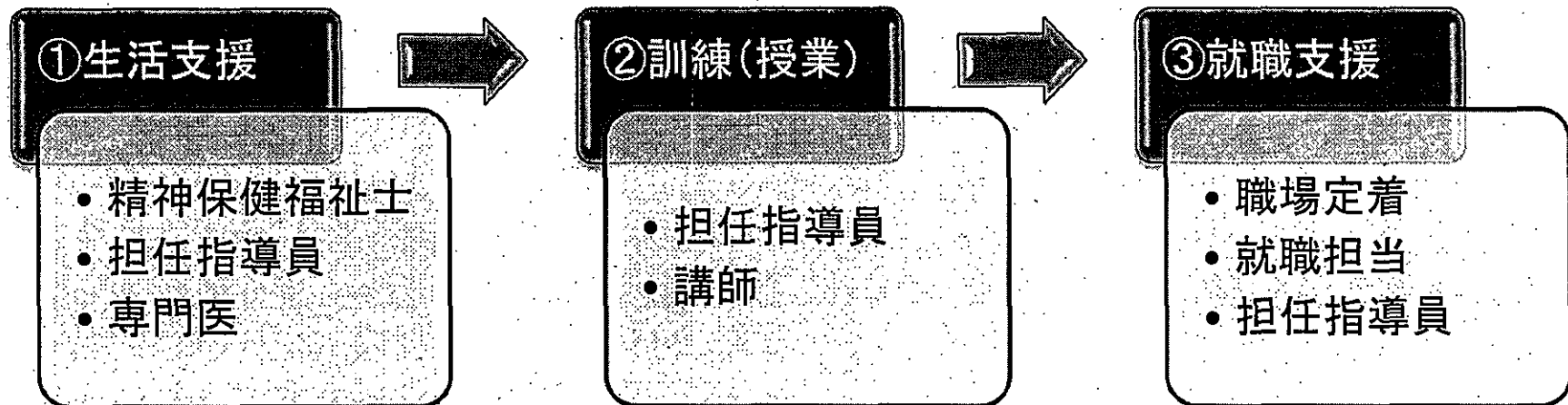
- 30分程度
- ①訓練期間中安定して通校・受講ができるか
- ②訓練によって技能習得ができ、それに基づく就職が見込めるか
- ③障害の理解と受容ができ服薬等医療面の自己管理ができているか
- ④医療・福祉等の支援機関(支援者)に対して、支援要請ができるかどうか等の重点を置いている。

・作業評価

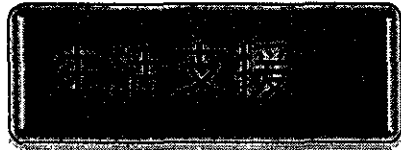
- 訓練を実際に体験させ、作業の耐性や集中、疲労度を確認する。90分間実施(数値入力・文書入力・検索修正・北・&・スト・ファイル操作)

特別支援・配慮事項について②

支援の流れ(主な担当)



各担当部署にこだわらず関わり合い情報交換が大切。
生徒の状況をよく知る、担任指導員の役割が大きい。



①生活支援(社会生活支援は精神保健福祉士がメイン)

- ○精神保健福祉士による支援
 - 毎日の健康チェック等
 - 体調・生活の自己管理に向けた指導
 - 「健康チェック等」を訓練指導員に伝えるなどリアルタイムでの情報交換
 - 専門医との医療相談の準備
 - 医療相談後の生徒・訓練指導員へのフォローアップ
 - 職員への助言・指導
 - ケース会議の設定
- ○専門医による支援
 - 原則、毎月2回実施(隔週)
 - 相談時間は概ね30分程度
 - 事前に訓練状況や生活状況を正確に専門医に伝え、適切なアドバイスをもらう。
 - 専門医のアドバイスは「専門医から本人へ」「専門医から精神保健福祉士へ」「今後の対応」といった助言指導

訓練(授業)

②訓練(授業)は

- 全く他のオフィスワーク科生徒と同じカリキュラム
- 訓練内容については、特別な配慮は、行わないが.....
 - 朝夕のミーティング(個人ノートの作成他)
 - 規則正しい生活
 - 体調が悪くなったときの対応
 - クラス(職場)内でのコミュニケーション
 - 人前でのプレゼンテーション(スピーチ・PowerPoint発表会)
 - グループ作業
- 訓練中は、ストレスがかかるので、精神面での配慮が必要(常に状況把握)
- 授業の理解度・進捗とも他の生徒に劣らない



③就職支援・定着支援

○就職担当者(他の生徒も指導)

書類作成・職場開拓・面接同行など就職に関する
全般

○定着支援員(精神障害者のみ指導 H24より設置)

職場実習・面接同行・就労後の定着支援
支援センター・就労企業との連携
関係機関・家族との連携等の構築

職業訓練実施に当たっての問題点

- 訓練技法等に関する問題点等
 - 負荷の程度⇒ストレスを良い方向へ
 - 一斉授業。検定。就職面接。常に状況・反応を把握。
 - 目標設定(本人による)⇒達成感＝自信
 - 検定(練習及び実施)⇒合格⇒自信
 - 10分間入力(集中力)⇒日々の変化、目標達成⇒自信
 - 面接⇒不合格⇒悩む⇒解決方法を見つける(指導)⇒チャレンジする⇒採用⇒自信
 - ノウハウの伝授⇒職員の異動
 - 他の障害者にも使用できる教材(課題)作成
- 支援センター・企業との連携

生徒事例

- 平成24年4月入校
- 男性
- 40歳
- 大卒
- 双極2型気分障害 2級
- 検定試験 5月ワープロ3級・6月表計算3級・7月ワープロ2級・
8月表計算2級 簿記2級入校前取得済み
- 就職活動
 - 6月-合同面接会に於いて7社面接するもすべて不合格。
非常に落胆したが、相談することを覚え、元気を取り戻す。
 - 9月-校内面接会に於いて採用内定。
遠距離通勤の為、職場近くのグループホーム入居。
企業・区支援センターとの連携
 - 11月-入社 定着支援(会社との情報交換)

おわりに

- 混在訓練と精神専門の科について
- 段階的な訓練について(各訓練施設の連携)
- 開発校における支援システムの構築について
- 精神障害者に係る職員について

